

校長あいさつ

沖縄県立八重山高等学校 校長 仲舂盛順

八重山高校は、八重山郡民の熱い思いを受け1942（昭和17）年に開校した沖縄県立八重山中学校、沖縄県立八重山高等女学校をその母胎としている。1947（昭和22）年の学制改革により2校は統合され八重山高等学校となった。八重山高等学校は、今年76年目を迎える八重山地区唯一の普通科高校（1学年6クラス）である。校訓は「学徳」「進取」「雄飛」で、「師弟同行」を校是とした教育活動を推進している。

八重山高校のカラーガード部がすごい！！

放課後、管理棟玄関前で大きなフラッグが舞っている。八重山高校のカラーガード部の部活動である。小気味よいリズムに合わせ、20名を超える生徒がフラッグを振る様子は圧巻である。

このカラーガード部は平成17年度に発足している。当時、国語の教師であった赤嶺剛先生（現今帰仁村教育委員会）が、小中とマーチングバンドが強い石垣で何とかその受け皿を模索した結果、結成したのがカラーガード部だったそうだ。赤嶺教諭の呼びかけに応じ、当時2年生だった富村万理代さん（現県立高校養護教諭）を中心に部員が集まり活動が始まったそうだ。

八重山高校カラーガード部は発足以来県大会を勝ち抜き、マーチングバンド全国大会カラーガード部門（名称の変遷あり）において7回の金賞（全国2位含む）を受賞しており、県内でもカラーガードといえば八重山高校といわれるまでに成長した。今、カラーガード部は新入部員も含めた陣容で、11月に行われる県大会優勝を目指し、溢れる汗と戦いながら練習に励んでいる。

平成30（2018）年 5月

黒島口説（くどうち）に魅せられて

八重山高校郷土芸能部が歌い演じる黒島口説（くどうち）は凄い。舞踊が良いのはもちろんだが、歌声はもっとすばらしく、多くの聴衆を魅了する。澁刺とした歌声は魅力的で、特に「いやい～や、豊かなる世の・・・」以降の歌声は、女性ならではの高音と力強さがあり、聞く者に感動を与える（と思う）。

私が八重山高校郷土芸能部の黒島口説（くどうち）を意識したのは、前回の八重山勤務6年の終盤（平成元年あたり）で、石垣市民会館で八重山高校郷土芸能部が演じた時であった。あの時から、八重山高校郷土芸能部の黒島口説（くどうち）に魅せられ、それが今回の再赴任の理由のひとつにもなっている。

※八重山高校郷土芸能部は、1994年に全国高等学校 総合文化祭郷土芸能部門最優秀賞・文部大臣賞を受賞している。

平成30（2018）年 4月